

報道機関の皆様へ

< 新型コロナウイルス報道に関する ご協力とお願い >

日ごろは、スーパーマーケット（以下 SM）への深いご理解と公正なニュース・報道等を賜り、厚く御礼申し上げます。現在、我々 SM 業界は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、お客様の“食生活を守るライフライン”として事業継続を行うべく、業界をあげて各企業・各従業員が一丸となって、必死に営業を継続しております。

そのような中、政府による緊急事態宣言の発出や大都市圏を中心とする感染の更なる拡大を受けて、実際のお店（現場）では過剰な要求に追われ、また従業員が使用する業務用マスクすら枯渇しつつあり、今後の事業継続を脅かす懸念すら感じております。各団体にも匿名で現場従業員からギリギリの状態で行っている叫びの声も多数寄せられております。つきましては、以下の点に対してニュース・報道等を通じて、ご協力をお願い申し上げます。

1. 過熱報道をお控え頂き、お客様に冷静さを呼び掛けて頂きたい！

客観的事実の薄い情報や不安感を必要以上に煽る情報が溢れ、お客様が過度に神経質になっており、お店での感染拡大対応事項や要望が膨大になっています。対応人員にも限りがある中、営業継続に支障をきたしかねない状況です。冷静な買物行動を呼びかけて頂きますようお願い致します。

2. お店の営業継続の大切さをお客様に理解頂きたい！

お客様の“コロナ疲れ”やストレス増加により、連日の買い占め等による品薄や欠品、混雑などに、心無いお言葉を頂くことも増加傾向にあります。SM では、食料品の安定供給という重要な役割を果たすために、可能な限りの努力を続けています。しかしながら急激な需要増に対しては、商品供給に一時的に支障が出ることもあります。そのような状況でも様々な努力をし、生活に必要な食料品等を販売継続している現場へのお客様の理解を頂きたい。

3. 皆様にとってのお店の安心・安全を確保したい！

日々多くのお客様にご来店頂くことは、社会における SM の役割からしても大変ありがたいことですが、そこにはお店で販売を継続するため働く多くの従業員がいます。ご来店頂く際にはマスクを着用して欲しい（政府支給による布マスクの有効活用）、お客様にも咳エチケットを徹底して欲しい、レジにお並びいただく際に一定の距離を取って欲しい等、お店がクラスター発生場所にならないよう、お店もお客様も共に安心・安全な買い物空間を共有できることが最も大切と考えています。

もちろん医療崩壊を招かないため、医療従事者の皆様に政府としての支援や国民の皆様の深いご理解はあってしかるべきであり、医療従事者の皆様への感謝と理解が更に進むことを願っております。

しかしながら、国民の皆様の生活を食という側面から支える“食生活を守るライフライン”である SM に対し、ご来店頂くお客様の更なるご理解とご協力が進むことを願い、報道関係の皆様にお力をお借りしたく、書面にてお願い申し上げます。

地域に根差すライフラインとして SM を何としても営業継続させ、各従業員が SM の果たすべき使命を胸に安心・安全に働ける環境を維持継続できるよう、報道の皆様にご発信頂ければ、幸いに存じます。よろしく願い申し上げます。

以上

オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会